

アートフロア ラルジュ

取扱説明書

12mm

必ずお読みください

NANKAI
NANKAI PLYWOOD

南海プライウッド株式会社

本社 〒760-0067 香川県高松市松福町1-15-10

首都圏営業グループ	首都圏 第1・2・3チーム	TEL (087) 825-3621	FAX (087) 825-3645
東日本営業グループ	北海道・東北営業チーム	TEL (087) 825-3632	FAX (087) 825-3695
	関東甲信越営業チーム	TEL (087) 806-3660	FAX (087) 825-3645
	中部営業チーム	TEL (087) 825-3622	FAX (087) 825-3646
西日本営業グループ	近畿営業チーム	TEL (087) 825-3623	FAX (087) 825-3647
	中四国営業チーム	TEL (087) 825-3624	FAX (087) 825-3648
	九州営業チーム	TEL (087) 825-3625	FAX (087) 825-3649
特需営業グループ	特需 第1・2・3チーム	TEL (087) 825-3662	FAX (087) 825-3669

■ご使用になる前に必ずこの「取扱説明書」をご一読いただきますよう、お願いいたします。

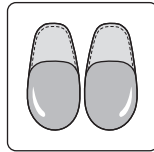
間違った取り扱いを行ないますと製品の品質劣化や人への損傷につながる可能性があります。本書にそわず取り扱いを行なった場合については、当社での保証はしかねますのでご注意ください。

■お読みになったあとは、大切に保管し必要な時にお読みください。

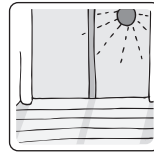
取り扱いの注意



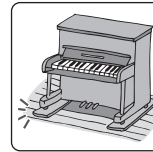
水・醤油などをこぼした場合はすぐに乾いた布で拭き取ってください。フロアを長時間水に濡らしたままにすると、シワ・膨れ・変色・シミ・割れの原因となります。



上履き用として設計していますので、土足でのご使用はお避けください。



直射日光のあたる場所には適切な対策を行なってください。色柄によって変色する可能性があります。



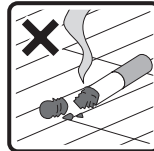
ピアノなどの重量物を置く場合は、必ず脚部に小幅の保護板を敷いてください。



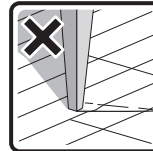
転倒注意!!
フロアは平坦なため、滑る可能性がありますので、転倒などには十分に注意してください。



水洗いはできません。絶対ししないでください。



火の付いたタバコを落とした場合はすぐに取り除いてください。焦げ跡が付くと取れなくなります。



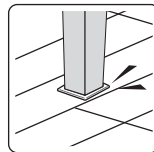
物を移動する場合は床面をこすらないように持ち上げてください。



椅子やテーブル(キャスター付き)などご使用方法によっては、キズ・凹みの原因となります。カーペットなどを敷いて床面を保護してください。

注意

プラスチック製キャスターや球形状および小径のキャスター付き家具のご使用はお避けください。へこみ傷などが発生するおそれがあります。また、車椅子には対応していません。



家具などによるキズ・凹みを防ぐため、脚下にはフェルトなどの保護材を貼ってご使用ください。ただし、保護材は材質や使用条件によって、フロア表面に跡がつくことがあります。

注意

ゴム製の保護材は長時間使用すると接着するものがあり、移動の際に表面がはがれたり、跡がつくおそれがありますので使用しないでください。



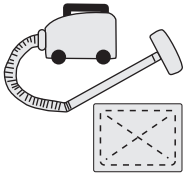
ストーブなど暖房器具の熱風や熱気が直接フロアにあたると、フロア表面にヒビ割れや退色をおこすおそれがありますのでご注意ください。熱風や熱気が直接あたらないようにマットを敷いて保護することをおすすめします。

注意

厚塗りコート剤をご使用になりますと床鳴り・ヒビ割れなどを発生するおそれがありますので、ご使用はお控えください。また、厚塗りコート剤施工後に付与される性能についても当社としては責任を負いかねます。

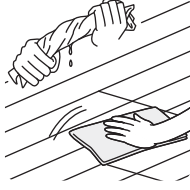
お手入れ方法

お手入れのやり方によって、フロア表面の意匠を長く美しく保つことが可能です。
正しいお手入れ方法を覚えておきましょう。



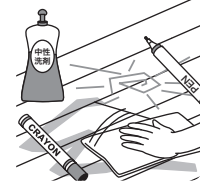
ふだん

日常のお手入れは、砂や埃を掃除機で取り除いた後、乾いたモップ・雑巾で乾拭きするだけかまいません。



汚れが目立つところ

汚れが目立つ場合は固く絞った雑巾で拭き取った後、乾拭きしてください。



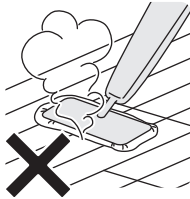
頑固な汚れ

マジックなどでフロア表面を汚した場合は、すぐに家庭用洗剤などで軽く拭き取った後、乾拭きしてください。放置すると取れなくなります。



使用禁止

強い酸性、アルカリ性の薬品はフロアを傷めます。ご使用にならないでください。



使用禁止

スチーム洗浄機をご使用になりますと、突き上げ・膨れ・ヒビ割れ・カビ・腐れ・白化などを生じることがありますので、ご使用にならないでください。

このフロアは表面に十分な耐久性・意匠性をもたせたノンワックスタイプです。ワックスを塗布されますと艶ムラなど美観を損なうおそれがありますので

ワックスがけは 不要です。

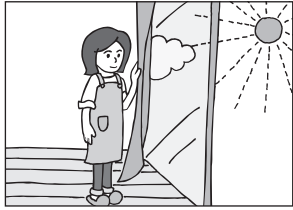
もし何らかの理由でワックスがけを行なう場合は「ワックスの塗り方」の手順に沿って塗布してください。

※サンドブラック色は特にワックス剥がれ、ムラが目立ちやすいのでワックスがけを行なわないでください。

剥離剤は床材の表面塗膜を侵しますので絶対に使用しないでください。

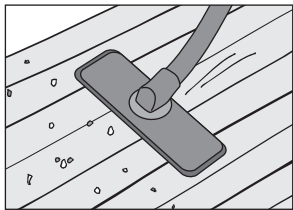
もし何らかの理由でワックスがけを行なう場合は下記の手順に沿って塗布してください。また、ワックスは指定品[(株)リンレイ ハイテクフローリングコート つや消し40]をご使用ください。

ワックスの塗り方 (基本的にワックスの塗布はおすすめしません)



① 天気の良い日に。

ワックスがけは天気の良い日がお勧めです。
※室温が5度以下の時や、湿度が高い時にはワックスがけを行なわないでください。床面が変色する原因となります。



② フローリング表面のゴミ・ホコリを取り除きます。

掃除機などでゴミやホコリを取ります。
※化学雑巾は使用しないでください。



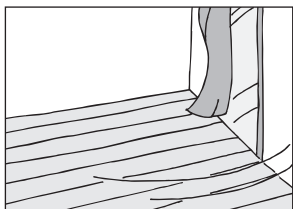
③ 汚れを落とします。

洗剤溶液(中性洗剤+水)を作り、フローリング表面の汚れを拭き取ります。
※洗剤溶液は直接床にまかず、雑巾に充分染み込ませ、固く絞ってご使用ください。
※溝に洗剤が溜まらないよう、注意してください。溝に溜まった時はすぐに拭き取ってください。
※洗剤溶液が床に垂れないよう、容器の下に水をはじくビニールシートなどを敷いてご使用ください。



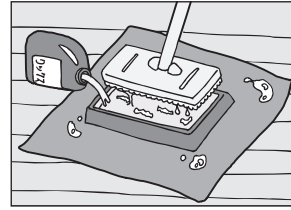
④ 水拭きをする。

固く絞った雑巾で洗剤を拭き取った後、乾いたきれいな布で乾拭きをします。
※水は直接床にまかないでください。
※洗剤は乾かないうちに拭き取ってください。膨れの原因となります。
※床表面・溝に洗剤が残らないよう、完全に拭き取ってください。



⑤ 乾燥させます。

床を充分乾かします。



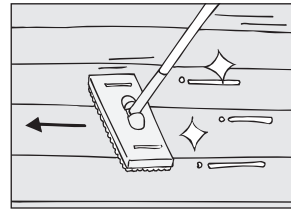
⑥ ワックスをモップに染み込ませる。

受け皿などに塗布面積分のワックスを入れ、ワックスが垂れない程度にモップに染み込ませます。

■ワックスは必ず指定品をご使用ください。

指定品 (株)リンレイ
ハイテクフローリングコート
つや消し40

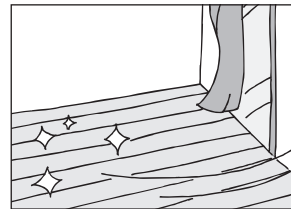
■モップは毛足の短いタイプをご使用ください。
※ワックスは直接床にまかないでください。
※ワックスは標準使用量を守ってください。
※ワックスが床に垂れないよう、容器の下に水をはじくビニールシートなどを敷いてご使用ください。



⑦ ワックスを塗ります。(1回目)

部屋の奥から壁に対して平行に薄くムラなく塗ります。

※ワックスは必ず一定方向に塗り、塗り直し・塗り直しはしないでください。ムラになるおそれがあります。
※ワックスが重ならないように丁寧に塗ってください。
※床の継ぎ目にワックスが溜まらないように注意してください。



⑧ 乾燥させます。

床を充分乾かします。ワックスが乾くまでは歩いたりモップでこすったりしないでください。

※最低でも30分は乾燥させてください。
※乾燥が不十分のまま重ね塗りはしないでください。ムラの原因となります。

⑨ ワックスを塗ります。(2回目)

完全に乾燥したら、1回目同様にワックスをムラなく塗ります。

⑩ 時間をかけて乾燥させます。

床を充分乾燥させます。ワックスが乾くまでは、歩いたりモップで擦ったりしないでください。

※1日以上は乾燥させてください。乾燥が不十分ですとムラや汚れの原因となります。また、すぐに水拭きをするとワックスが剥がれる可能性があります。水拭きをする際は72時間以上時間をあけてください。

ご注意

ワックスは使用方法を誤ると白くなったり粉状になるなど、美観を損なうおそれがあります。

■ワックスに関するお問い合わせはこちらまで

株式会社 リンレイ お客様相談窓口 〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町2-25-13

TEL 03-3541-5955